

## 一夏期大学講座—「新しい気象学教室」

### 開催のお知らせ

気象学の普及をはかるため、中・高校の理科ならびに地学担当教員を主対象として、下記のとおり、夏期講座を開催する予定です。なお詳しい日程やその内容、参加申込の手続等については追ってお知らせします。

#### 記

日時：7月21日～27日

会場：気象庁講堂（予定）

講演企画委員会

### 第4回国際大気電気会議のお知らせ

第4回国際大気電気会議（The Fourth International Conference on Selected Topics on the Universal Aspects of Atmospheric Electricity）が1968年5月に東京で開催されることになりました。この会議は第1回（1954）米国，Portsmouth，第2回（1958）米国，Portsmouth，第3回（1963）スイス，Montreux とほぼ4年毎に開かれております。今回の東京会議の要目は次の通りです。

a) 主催 Joint Committee IAMAP-IAGA (IUGG)  
on Atmospheric Electricity

日本学会会議（主催又は後援）

日本気象学会

日本地球電気磁気学会

b) 期日 1968年5月12日 参加者登録

5月13日～14日 講演・討論

5月15日 休日

5月16日～17日 講演・討論

c) 開催地 東京（ホテル・オークラ）

d) 会議の主な内容

大気電気（特に地球全般現象に関連するもの）および、それと宇宙空間電気現象との関連を主眼とし、次の項目よりなる予定です。

1. 雷の電気現象に関するもの
2. 大気イオン・エアロゾルに関するもの
3. 核爆発・火山爆発・地震等に伴う電気現象に関するもの
4. 空電現象に関するもの

5. 大気圏内の電流系に関するもの

6. 宇宙空間の電気現象に関するもの

e) 会議の形式・参加者

第1回より第3回に至る会議では、主催者の指名による参加者のみでありましたが、今回東京で開催される会議は公開です。会議の要点は研究討論におかれま

すので、講演者は従来同様主催者の指名によりますが、どなたも出席し討論に参加することができます。

f) 国内組織

組織委員会委員長 田村雄一（京都大学教授）

事務局長 石川晴治（名古屋大学教授）

外20名で構成され、1967年3月に発足しております。

g) 通知、問合せ

会議の細目は決定次第、本誌に掲載致します。なお、会議についての問合せは下記に宛てて下さい。

石川晴治 豊川市市田町下中野68番地

名古屋大学空電研究所